



since 1926

自分が好き 友だちが好き このまちが好き

横浜市立下野谷小学校

# 学校だより

11月号

令和3年10月29日

## 子育ての難しさ すばらしさ

校長 高橋義成

西暦2000年(今から約21年前)に当時の都知事が「心の東京ルール」という呼びかけをしました。子育てに関する内容だったこともあり、2校目の学校に勤務していた私にとって、とても印象深かったことを覚えています。

- 「毎日きちんとあいさつをさせよう」
  - 「他人の子どもでも叱ろう」
  - 「子どもに手伝いをさせよう」
  - 「ねだる子どもにがまんをさせよう」
  - 「先人や目上の人を敬う心を育てよう」
  - 「体験の中で子どもをきたえよう」
  - 「子どもにその日の事を話させよう」
- の7つです。

とても当たり前のように見えますが、当時の私は「もしも、これが日本中でそろったら、なんてすごいことだろう」と感じていました。この2年後に私は3校目の下野谷小学校に赴任することとなります。その時も、そして校長として赴任した2年半前も、地域の方や保護者の方の温かさを感じたのは全く同じでした。この2年半過ごす中で、なぜか「心の東京ルール」を思い出すことが多くなりました。ふと考えてみると、「本校の地域の方や保護者の方は、この7つをかなり実践しているのではないだろうか。」と思うことができました。多くの方と知り合えばその分だけ、7つにつながる会話をしてきたように思うのです。

10月中旬に5年生は南伊豆臨海学園に1泊で行ってきました。活動の一つに「カッター訓練」があります。船舶に搭載される手漕ぎのボートのことで、4mほどのオールを2人で支え、進むためや向きを変えるために漕いだり、狭いところを通るために立てたり、休憩するために組んだりすることがあります。

- 船に乗った全員が力を合わせなければオールの設置すらできません。
- オールは2人の呼吸を合わせないと正しく動きません。
- オールが海深く入ってしまうと、それを抜くだけでも大変です。
- 手を真っ赤にして、痛みにも耐え、粘り強く漕がなければなりません。

全員の調和がとれると、小さなエンジンがついているかのように突然進む瞬間

がやってきます。その時の不思議な感覚と喜びが達成感なのだと思います。



自分が好き・・・一生懸命、挑戦する気持ち、認められる経験

友だちが好き・・・ありがとう、ごめんなさい、相手を思う気持ち、思いやり、仲間

このまちが好き・・・人情にふれる、目上の方を敬う、支え合い、安全安心

狭いすき間をぎりぎりで通るため、オールを立てて足で支えています。

～子どもを中心に 子育ての難しさ・すばらしさを 学校・家庭・地域が 笑顔で語り合う学校をめざして～